

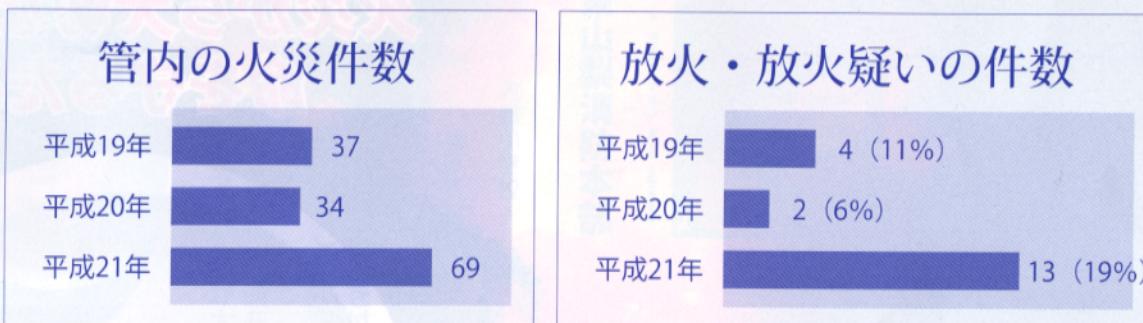
## 平成21年中火災件数と放火火災の発生状況

東山梨消防本部管内における平成 21 年中の火災件数は、近年の 30 件台に比べ、ほぼ倍の 69 件となり、最も多い火災発生状況となりました。(左グラフ参照)

これは約5日に1件の割合で火災が発生したことになります。

この火災発生件数の増加に伴い、当消防本部が危惧しているのは、「放火・放火の疑い」が原因となった火災が平成19年中が4件、平成20年中が2件であったものが、平成21年中は、13件と急増し、火災全体の約2割を占めたことです。(右グラフ参照)

この放火火災は、安全で安心な社会生活をおくるうえで大きな脅威となるものです。



管内から放火火災を減らすためにも、住民の皆さん自らが放火の実態を知り、危機意識をもち、地域ぐるみで放火防止対策に取り組みましょう。

## 放火の実態

ここが狙われています!!

- 家の外に出してある不要品、古新聞等に放火される。
  - 郵便受け・新聞受けの新聞やチラシ類に放火される。
  - 火の着いた紙を部屋に投げ込まれる。
  - 施錠されていないドアから侵入して放火する。
  - ゴミ収集日前日の夜に出したゴミに放火される。



放火は、社会情勢など様々な要因が影響しており、全国的にも増加する傾向にあります。

また、放火は同一地域において短時間に連続して発生する場合もあり、地域に与える不安も大きくなっています。